

**令和6年度 宮城県「体験の風をおこそう」運動推進事業**  
**「MIYAGI 自然まんきつ・よくばりキャンプ」報告書**

**1. 趣旨**

宮城県にある5つの自然の家が連携し、各地域の教育資源を有効活用した教育プログラムを企画・実施することにより、宮城県や県内施設のよさ、自然と関わる楽しさに気付かせていく。また、新たな友達と出会い、コミュニケーションを図りながら自然体験活動をしていくことで、人を大切にする心を育てていく。

**2. 事業の概要**

- (1) 期日 プレキャンプ 令和6年 6月22日(土)～ 6月23日(日)【1泊2日】  
 本キャンプ 令和6年 7月25日(木)～ 7月29日(月)【4泊5日】

(2) 参加者

- ①参加対象 小学校4年生から6年生  
 ②参加人数名 26名

		小4	小5	小6
男性	16名	6名	1名	9名
女性	10名	2名	1名	7名

**3. 連携・協力**

後援 宮城県教育委員会  
 協力 宮城県志津川自然の家、宮城県松島自然の家、宮城県蔵王自然の家  
 オーエンス泉岳自然ふれあい館、(株)大塚製薬、宮城県キャンプ協会

**4. 企画運営のポイント**

- プレキャンプでPAや野外炊事を行うことで本キャンプに向けての人間関係の基盤を形成する。また、本キャンプの初日にもPAを入れ、長いキャンプで互いに快適に過ごしていけるよう支援する。
- プレキャンプで保護者も一緒に熱中症対策講座や本キャンプでの活動についての説明を行うことで参加者、保護者に安心感を与えていく。
- 本キャンプでの班を前半班、後半班としたり、宿泊施設によって同じ部屋に泊まるメンバーを変えたりすることでより多くの仲間と交流ができるようにする。
- 夜には多くの活動を入れず、ゆとりのある時間設定とし、参加者同士が自由に交流できる時間にする。
- 毎日の朝の動きや施設出発の時間などを同じような時間帯にすることで、参加者が自主的に見通しをもって進めていけるよう支援する。

**5. 日程**

7/25 (木)	くりこま高原駅 13:30集合・受付	受付	移動 (志津川へ)	入所式	入所オリエンテーション	メイック	ベック	夕食	レクリエーション	入浴	振り返り	就寝							
				志津川自然の家															
7/26 (金)		起床 荷物整理	つどい	朝食	退所 清掃	活動 準備	いかだづくり・バナナポート	昼食	退所式	移動 (松島へ)	入所式	入所オリエンテーション	メイック	ベック	夕食	洗濯 翌日準備 フリータイム	入浴	振り返り	就寝
志津川自然の家								松島自然の家											
7/27 (土)		起床 荷物整理	つどい	朝食	退所 清掃	活動 準備	シーカヤック体験	昼食	退所式	移動 (蔵王へ)	入所式	入所オリエンテーション	メイック	ベック	夕食	フリータイム	入浴	振り返り	就寝
松島自然の家								蔵王自然の家											
7/28 (日)		起床 荷物整理	つどい	朝食	退所 清掃	活動 準備	ニジマスつかみ	昼食	退所式	移動 (泉岳へ)	入所式	入所オリエンテーション	メイック	ベック	夕食	キャンプ ファイヤー	入浴	振り返り	就寝
蔵王自然の家								オーエンス泉岳自然ふれあい館											
7/29 (月)		起床 荷物整理	つどい	朝食	退所 清掃	移動	ZIPLINE体験	BBQ	振り返り	移動 (仙台駅へ)	解散	仙台駅東口 15:00頃 解散							

## 6. 主な活動内容



大塚製薬による熱中症対策講座



PAでの交流活動



野外炊事カレーづくり in 花山



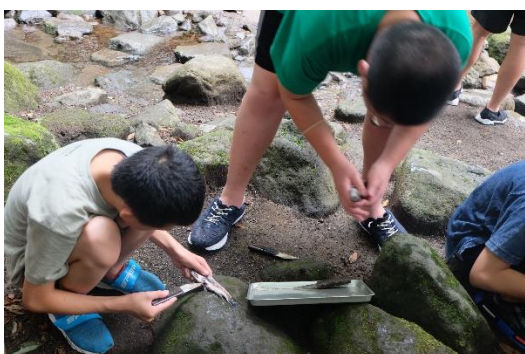
いかだづくり in 志津川自然の家



松島にて宮城名物の笹かま焼き体験



シーカヤック体験 in 松島自然の家



ニジマスつかみ・塩焼き体験 in 蔵王自然の家



キャンプファイヤー in 泉岳自然ふれあい館





Z I P L I N E体験 inスプリングバレー



キャンプの振り返り活動

## 7. 成果と課題

### (1) 参加者アンケート結果

(4 : 満足 3 : やや満足 2 : やや不満 1 : 不満)

	4	3	2	1
① 事業全体	26名 (100%)	0名 (0%)	0名 (0%)	0名 (0%)
② プログラム内容	26名 (100%)	0名 (0%)	0名 (0%)	0名 (0%)
③ 事業運営	26名 (100%)	0名 (0%)	0名 (0%)	0名 (0%)
④ 職員の指導・助言	25名 (96%)	1名 (4%)	0名 (0%)	0名 (0%)
⑤ ボラ・実習生について	26名 (100%)	0名 (0%)	0名 (0%)	0名 (0%)

### (2) 参加者の声

- ・いつも経験できないことができて楽しかった。そして新しい友達もできてうれしかった。自然でしかできないことやすばらしいことがあった。家以外で過ごすのもよいと思った。ボランティアの人が面白かった。
- ・自然の大切さや面白さ、命の大切さを知った。
- ・いろいろな人と話したり、遊んだり、活動で協力したりして楽しかった。
- ・もっとこういうキャンプに参加したい。全国の自然の家にも行ってみたい。

### (3) 成果

- ・参加者に県内の自然の家や自然で遊ぶ楽しさを感じさせることができた。少なからず多くの参加者が今まで以上に自然に興味をもっていた。
- ・参加者の1人がニジマスつかみ・塩焼き体験を作文にし、県の作文コンクールで入選していた。実際に生き物を目の前でさばき、食べることで命について考える機会を与えられた。
- ・PA活動を始めとした仲間づくりにも重きを置いて事業を進めたことで参加者同士がよい人間関係を築けた。事業後にも連絡を取り合おうと話す姿も見られた。
- ・5公所で連携して行ったことで全国においても先進的な取り組みにすることができた。子供たちにとっても、全ての自然の家を知るよい機会になった。
- ・毎日同じような時間設定で行動していたため、参加者が見通しをもって進められるようになった。日を重ねるごとに荷物整理や布団の片付け、退所点検がスムーズになっていった。

### (4) 課題

- ・4泊5日と長いキャンプになるので常時帯同できる看護師がいるとよい。
- ・各施設の職員と今年度よりも細かい打ち合わせがあってもよい。どこからどこまでをどこの職員が行うかという擦り合わせが必要。
- ・予算の関係で体験の風から予算が下りなかった場合の参加費の上乗せが必要。そうなったときのバス代がかなりかかるので、良い方法を探る必要がある。